



石川県立小松高等学校

所在地 〒923-8646 石川県小松市丸内町二ノ丸 15

T E L 0761-22-3250 F A X 0761-22-3251

U R L <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/komafh/>

E メール komafh@ishikawa-c.ed.jp



○創立

明治 32 年

○校長名

馬場 智子

○職員数

93 名



学校へのアクセス IR 小松駅下車徒歩 20 分

(令和 7 年 5 月 1 日現在) () はクラス

生 徒 数	学年			1 年			2 年			3 年			合計		
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
普通科	125	155	280(7)	128	153	281(7)	151	122	273(7)	404	430	834(21)			
理数科	29	11	40(1)	31	11	42(1)	23	14	37(1)	83	36	119(3)			
計	154	166	320(8)	159	164	323(8)	174	136	310(8)	487	466	953(24)			

1 本校教育の特色

- ① 自主自律、文武両道の校風…小松高校は、「自主自律」・「文武両道」の精神を重んじます。
- ② 「スーパーサイエンスハイスクール」…文部科学省より指定を受け、国際的科学系人材を育成します。
- ③ 「いしかわニュースーパーハイスクール」…石川県より指定を受け、グローバル人材を育成します。
- ④ きめ細かな進路指導体制…県内屈指の進学校。進路実現を強力にバックアップします。
- ⑤ 緑豊かで、充実した学習環境…平成 18 年に新校舎が完成し、快適な学習環境になりました。
- ⑥ 百二十余年の伝統…約 3 万 7 千人の卒業生を輩出し地域社会からも大きな期待が寄せられています。

2 今年度の重点目標

- ① 学びのある学校…学習習慣の確立に向けた指導や学力層・個に応じた学習指導により、上級学校進学のための学力を保障します。授業において、GIGAスクール構想を踏まえ一人一台端末の効果的な活用や本質に触れる主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努め、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力の伸長を図ります。また、課題を発見し、主体的・協働的に考え、課題を解決することができる探究力を育成します。相互授業参観や研究授業の実施、各種研究会への参加など、研修・研究に積極的に取り組み、教職員の授業力の向上を目指します。
- ② 個性が輝く学校…学習指導と進路指導の連携が取れ、3 年間を見通した指導体制のもと、生徒に高い志を持たせ、一人一人の進路実現を図ります。その際低学年からのキャリア教育や探究活動を充実させ、学ぶ意欲や進路意識の高揚を図ります。「文武両道」「自主自律」の精神のもと、学習活動や部活動、学校行事、生徒会活動の充実を図り、レジリエンスの涵養と豊かな人間性・社会性・主体性を育みます。
- ③ 地域から信頼される学校…学校公開やホームページ等を通じて本校の教育活動を積極的に情報発信し、「保護者や地域から信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進します。地域でのボランティア活動を推進するとともに、異校種間の連携を密にし、南加賀地区の基幹校としての自覚ある学校運営に努めます。

3 学校生活

○ 教科や授業

- ① 1 日 7 時間（金曜日のみ 6 時間）、週 34 時間の充実した授業内容。45 分授業と 50 分授業をうまく組み合わせ、放課後の部活動の時間もしっかりと確保しています。
- ② 習熟度別授業、少人数授業を国語・英語・数学・理科で実施。一人一人の能力を最大限に引き出します。

③ 文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」

本校は平成18年度より文部科学省の「スーパーサイエンススクール（SSH）」の指定を受け、今年でSSHIV期20年目となります。「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」を目指して、科学的な分析・考察に重点を置いた課題研究や探究的な学習活動を行っています。「探究基礎」（普通科1年）「課題探究Ⅰ」（理数科1年）では探究スキルの基礎を学び、

「課題探究」（普通科2年）「課題探究Ⅱ」（理数科2年）では課題探究に取り組みます。「科学探究（普通科3年）」「課題探究Ⅲ」（理数科3年）では領域融合型の学習を行ったのち、進路に応じた課題研究に取り組みます。また、理数科では「関東サイエンスツアーワーク」（6月）で東京大学や東京科学大学などの研究室を訪問し最先端の研究に触れ、「野外実習」（7月）ではウニの人工授精や地質調査を行うなどのフィールドワークに取り組むことで観察力を養います。さらに、「韓国科学交流」（2年）では、韓国の高校生との共同研究のために、7月に韓国大田科学高校の生徒が来県します。そして、12月には本校生徒が訪韓し、課題研究発表会に参加します。これらの活動や課題発見型授業や科目・領域融合型授業など特色のある授業を通して科学的探究力を伸長することにより、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目指します。

④ 石川県教育委員会指定「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」

「人文科学課題研究Ⅰ・Ⅱ」「関東ヒューマンセミナー」「海外交流研修」などを通して、思考力や探究力、コミュニケーション能力、豊かな人間性と社会性を養うことによって、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。

○ 学校行事

100年以上の歴史をもつ伝統ある校内レガッタ（7月）、青春を謳歌する創立記念祭（オープニングステージ・文化祭・体育祭）、文化部発表会（3月）、クラス対抗球技大会（3月）など、様々な行事を生徒たちが主体となって企画・運営しています。



体育祭

○ 部活動

運動部20、文化部15の部・同好会があり、どの部・同好会も活発に活動しています。部活動への加入率は90%を超えます。

令和6年度は、北信越総体・総文に10の部活動、全国総体・総文に放送部・かるた部が出場しています。

その他では、野球部は過去に2度甲子園に出場し、吹奏楽部は石川県吹奏楽コンクールや北陸吹奏楽コンクールにおいて、数々の賞を受賞しているなど、各種大会で顕著な成績を収めています。



カヌー部

4 進路状況

本校では一人一人を大切に、きめ細やかな進路指導を行っています。今春の大学現役合格者のべ人数は、国公立大学200名、私立大学489名でした。難関国立10大学（旧7帝大+東京科学・一橋・神戸大）国公立大学医学部の現役合格者数は47名でした。

5 在校生からのメッセージ

小松高校では、「文武両道」「自主自律」の精神のもと、多くの生徒が学業だけでなく部活動や研究などの様々なことに取り組んでいます。充実した設備は勿論、私たちを応援してくれる先生方、そして何より互いに競い合い高め合う仲間たちの存在が、自分自身を大きく成長させてくれます。ともに、最高の高校生活を送りませんか？

（令和7年度 前期生徒会会长 我戸 陽斗）